

12月中旬に利用が可能に！
JR土山駅自由通路と新駅舎



▲工が進むJR土山駅（11月上旬撮影）

今年の1月に自由通路と土山駅橋上駅舎の工事がスタートし、工事期間中、駅利用者の方々や地域住民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしましたが、12月中旬に完成し、利用が開始されます。

自由通路の完成により、駅南北の利用ができることとなり、大変便利な駅となります。

引き続き南北広場整備など

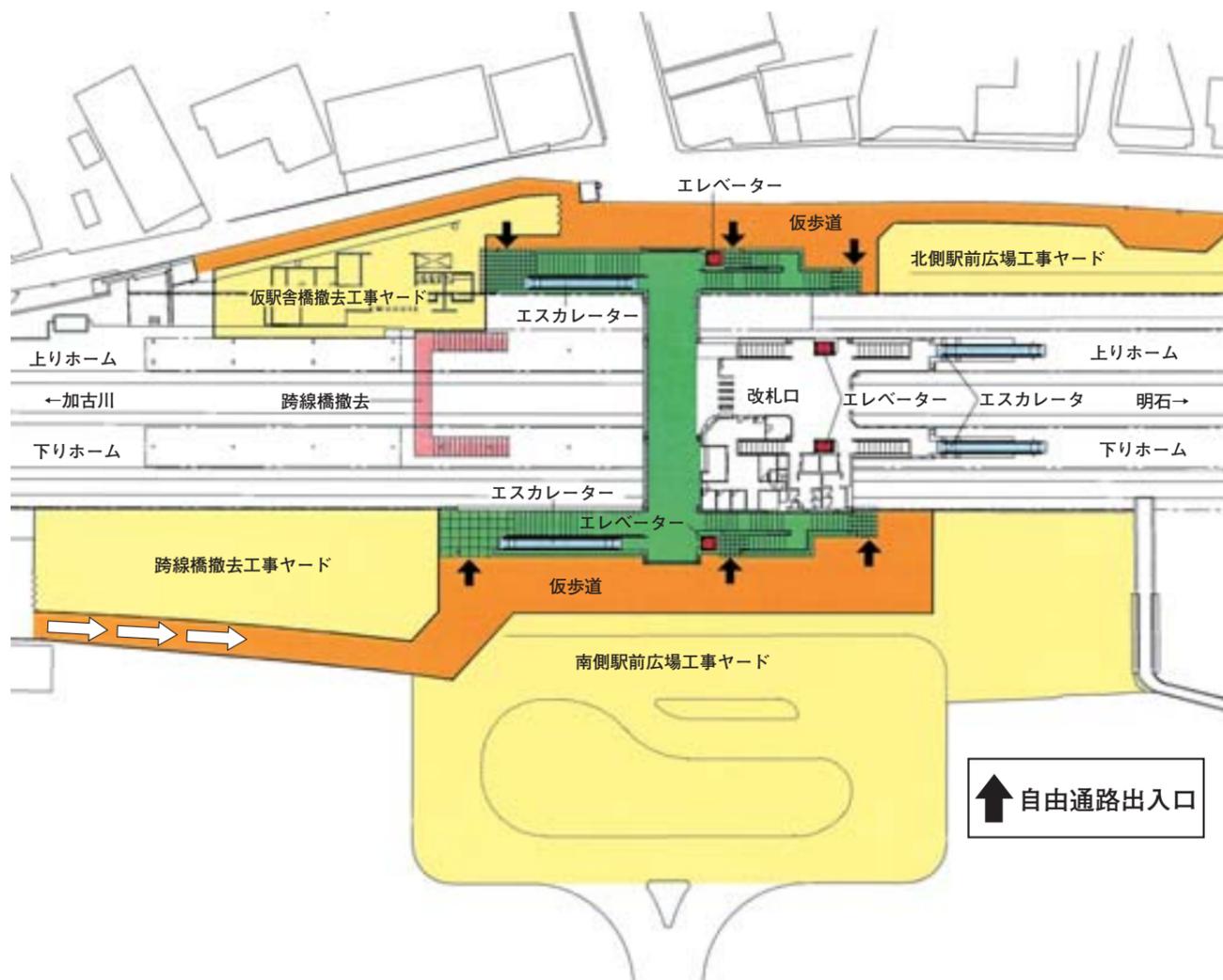
自由通路完成後も南北広場や南側の駐輪場、歩道整備の工事を引き続き進めていきます。

また、仮駅舎と跨線橋の撤去工事も行います。これらの工事が完了するまでは、仮歩道などを利用していただくため、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

▼問い合わせ 都市計画課
0794(35)23666



使用開始後の仮歩道と駅出入口の位置図



地震と津波の来襲を想定した
防災訓練が実施される

11月3日(祝)、時折激しい雨が降る中、住民ら約1000人が参加する大規模な防災訓練が、播磨西小学校をメイン会場として実施されました。

この日は東南海・南海地震（マグニチュード7.2）が午前9時30分に発生し、町内で震度6弱を記録、2メートルの津波が来襲するという想定。

この状況の下で、町災害対策本部は山陽電鉄以南の住民に対し避難勧告を出し、防潮ゲートを閉鎖。また海上保安署の巡視艇やヘリコプターが海上や上空からも被害状況を確認するなど、本番さながらの緊張感が漂っていました。

一方、避難勧告対象地域の住民らは、



▲一時避難所に入る住民ら

最寄りの小学校に次々と避難し、その後陸上自衛隊の車両などでメイン会場の播磨西小学校まで移動してきました。このほかにも播磨町消防団による水防工法訓練、自主防災組織による初期消火訓練、加古川市東消防署による高所からの救出訓練、播磨町日赤奉仕団によるアルファ米の非常食炊き出しなどがあり、参加者は日ごろの防災意識が大切だと痛感していました。



▲初期消火訓練



▲土のうを積む消防団員ら

朝来ふれあいフェスタに
「はりま藤の会」が参加



▲優雅な舞に大きな拍手が

10月26日(日)、播磨ふれあいの家があたる朝来町の芸術の森美術館で開かれた「朝来ふれあいフェスタ」に、「はりま藤の会」が出演しました。同会は、日本の民族衣装である着物を華麗に着こなしながら、音楽にあわせて帯を前で結び、その結んだ帯を後ろへまわす舞帯を行うグループで、播磨町夏まつりにも出演されています。美しい紅葉に囲まれた会場で、大きな拍手がおこられていました。

はりま健康プラン「ふれあい自然農園」初めての収穫



▲こんなにできたよ！

11月1日(土)、東本荘1丁目にある「ふれあい自然農園」で、サツマイモの収穫が行われました。このサツマイモは、大人も子どもも

みんなで野菜作りを楽しみながら食生活を考えようと5月に植えたもので、みんなで力を合わせて植え付け、草引きをし、収穫にいたしました。当日は好天にも恵まれ、自分の頭ほどもある大きなサツマイモを掘り出す子どもや、6つほど連なった株を持ち上げる女性、力が余って転がってしまった男性などもおり、終始笑顔があふれていました。

このふれあい自然農園では、サツマイモの次にタマネギを植える予定です。